



くさりづくりとムトン

小学生のころ、（昭和30年前後）学校からの帰り道、鎖を造っている父の工場へ、暑い夏も寒い冬も、毎日のように立ちよりました。丸棒が赤められ、クルッと曲がり、鍛接（たんせつ）されて鎖が1個ずつ出来あがります。横座（よこざ）と先手（さきて）の息のあった作業はリズムカルで見ていて楽しいものでした。

当時、使われていたのが『ムトン』です。金床のずっと上、天井に近いところにプーリーが回っています。200 kgほどもある鉄の塊がガイドに添って落ちてくるのです。皆が休憩している間に、いたずらによく触りました。大きな塊が、紐を引くと子供の私にも簡単に持ち上げられるのです。『危ない！！』よくおこられたものです。

『ムトン』が導入される昭和25年頃までは屈強の若者、ハンマー振りの先手が2人3人必要でした。導入以来、先手は一人で作業することになりました。

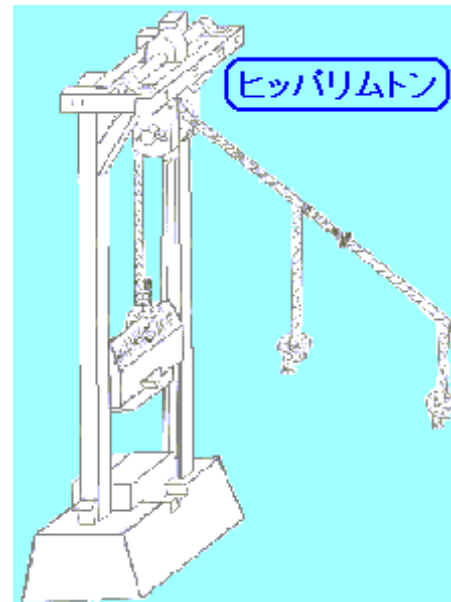
鍛接（たんせつ） 「沸し付け」ともいわれ金属を高温に加熱し溶融直前の状態の時に、ハンマーで叩き、引着ける作業で、熟練を要します。この時、鍛接補助材としてホウ砂と鉄粉を混ぜた粉を使います。

横座（よこざ）

親方

先手（さきて）

向う鎚（つち）を勤める職人



参考図書

鍛造 - 歴史と共に - 中日本鍛造協同組合

2000年

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>

<http://www.kanamonoya.co.jp/>

e-meil ryou@memenet.or.jp

むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください！！

今年も宜しくお願ひします！！